

「リレー家読」「読書活動」で交流

平成26年度 第2回 浦幌町教育の日実践交流会

今年度の浦幌町教育の日のテーマである「体力」と「読書」のうち、体力をメインとした6月開催の第1回に引き続き、10月25日に読書をメインとした「第2回浦幌町教育の日実践交流会」が浦幌町中央公民館で開催され、町内外より約250名の来場がありました。家庭・学校から読書活動の実践がそれぞれ発表され、実りある実践交流の機会となりました。

今回のメインテーマである「読書」については、これまでも「朝読・家読運動」として平成24年度より3年間に渡って実施しており、今年度は2年目を迎える「うらほろリレー家読」の取組経過や「各種読書活動」の実施状況を交流し、今後の教育の

推進に寄与することを目的として開催しました。

岸田会長による主催者挨拶の後、町内の小・中学校5校から「うらほろリレー家読運動」・「各種読書活動」取組から」と題した実践発表をしていただきました。

◆浦幌小学校

学校からは、リレー家読の活動報告とアンケートの実施結果に基づく成果と課題について発表がありました。

リレー家読に取り組んだ保護者は、「常に成果を求めず、将来少しでも子どもたちの役に立つことを信じて見守っていききたい」、児童は「好きな本だけではなく、色々なジャンルの



挨拶する岸田会長



浦幌小学校の発表

本を読んでいきたい」との意見がありました。

◆厚内小学校

学校内でのリレー読書のほか、今年度新たに幼稚園の年長組の家庭と小学校低学年の家庭とのリレー家読



厚内小学校の発表

を行い、始める前は、「リレーするのは大変なのでは」との声もある中、実際にやると「子どもたちと一緒に本を読む時間が出来て良かった」など肯定的な意見が出て、有意義な活動になったという報告がありました。

◆上浦幌中央小学校

リレー家読の家庭での感想、アンケートの結果や、3・4年生児童から読書についての感想が発表されました。

児童からは、「楽しく本を読めるようになった」、「家読は是非続けて欲しい」との意見があり、先生からも「何となく、そして、本が読みたいな、本って素敵だと思える様な学校を作っていきたい」との意見がありました。



上浦幌中央小の発表

◆浦幌中学校

生徒会主体によるリー家読の取組のほかに、今年度新たに取組んだ「読み聞かせによる中学生と幼児のつながり」について発表がありました。

体験した生徒からは「園児たちが真剣に聞いてくれ、読み終わるともう1回読んでと言ってくれてとても感激した」といった感想が述べられました。



浦幌中学校の発表

◆上浦幌中学校

大人から子どもへ、子どもから大人へという読書の輪を広げる、新たなリー家読の実践報告を、保護者3人によるパネルトーク形式により発表がありました。



上浦幌中学校の発表

保護者からは、「読書を通じて1つの共通話題という共通点を見出して、世代を超えた繋がりが出来れば」との意見がありました。

◆幼稚園・保育園の実践紹介

しらかば保育園の荒木園長より「保育園における読書活動」について紹介いただきました。

しらかば保育園では、年齢に応じた絵本の楽しみ方を推進しており、最初は自分が気に入った本をながめて楽しんでいたりするのが、年齢が上がっていくにつれて友達と一緒に見るようになってきたりと、読書を通じて心身の成長していることが紹介されました。

また、図書館との連携で、ブック

シェアリングによる寄贈や図書配本で毎月新しく入れ替えられる絵本を子どもたちが楽しみにしていること、子どもたちが本を楽しむ環境をこれからも大事にしていくことが述べられました。



しらかば保育園・荒木園長の発表

◆池田高等学校吹奏楽部「ダンス&プレイ」公演

昨年度に引き続き池田高等学校吹奏楽部による「ダンス&プレイ」公演が行われ、人気アニメ「妖怪ウォッチ」のようかい体操第1をはじめ、子どもから大人まで楽しめる楽曲を披露していただきました。

今年度も浦幌町文化祭と同日開催により行いましたが、本集会の終了後には展示されている作品をご覧になっっている様子も見られ、浦幌町教育の日の取組を知っていただくほか

に芸術文化に触れる機会となりました。



会場が一体となってダンス



池田高校吹奏楽部のダンプレ

「早寝・早起き・朝ごはん(あいさつ・ノーテレビデー)」運動は毎日展開中です